

パネリストのプロフィール

*五十音順

伊藤 るり いたう るり

一橋大学大学院社会学研究科教授。社会学博士。専門分野は国際社会学。グローバル化、とりわけ国際移民・移動のジェンダー分析、再生産領域のグローバル化に関心がある。「国際移動とジェンダー」研究会の創設メンバー。近年では、フランスを中心に、ヨーロッパにおける移住家事労働者の就労状況や処遇に関する調査研究に取り組んでいる。編著に、『国際移動とく連鎖するジェンダー>』（共編著、作品社）、『植民地的近代とモダンガール』（共編著、岩波書店）など。

指宿 昭一 いぶすき しょういち

2009年9月 司法修習終了、弁護士登録（第二東京弁護士会）、暁法律事務所開設（～現在）。日本労働弁護団全国常任幹事、外国人技能実習生問題弁護士連絡会共同代表、外国人労働者弁護団共同代表。【著書】『外国人の人権 外国人の直面する困難の解決をめざして』（関東弁護士会連合会編、共著、明石書店、2012年）、『外国人実習生 差別・抑圧・搾取のシステム』（「外国人実習生」編集委員会編、共著、学習の友社、2013年）、『会社で起きている事の7割は法律違反』（朝日新聞「働く人の法律相談」弁護士チーム著、共著、朝日新聞出版、2014年）。

定松 文 さだまつ あや

恵泉女学園大学人間社会学部国際社会学科教授。

【専門】国際社会学・ジェンダー論・女性の国際移動・言語社会学。神奈川県川崎市の外国籍市民調査（1995年、1997年）より日本に住む外国籍女性の抱える問題に関心をもつ。2005年より介護福祉士・看護師候補生として来日する人々をめぐる政策の問題およびヨーロッパの介護分野での移住女性の位置づけを調査研究。

藤本 伸樹 ふじもと のぶき

（一財）アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）研究員。

大学卒業後、民間企業勤務を経てフリーライターに。1988年から94年までフィリピンに滞在し、日比のNGOと連携して政府開発援助（ODA）や移住労働者の問題などに関する調査や政策提言を行う。1996年～2001年（社）部落解放・人権研究所のスタッフ（国際担当）。2001年4月から現職。とりわけ、日本における外国籍住民の権利に関する情報発信に注力している。



会場案内 「ドーンセンター」

- ・京阪・地下鉄谷町線「天満橋」から東へ約350m
- ・JR東西線「大阪城北詰」から西へ約550m



【連絡先】働く女性の人権センターいこむる

TEL : 06-6949-1561
E-mail : info@icoru.ever.jp